

令和元年（平成31）度 富島高等学校（定時制） 学校評価

教育目標 宮崎県教育基本方針および宮崎県人権教育方針に基づき、己の個性を伸ばす自立の心を育て、信頼と協調により友愛を深め、心豊かな生活をめざして創造力を伸ばし、知・徳・体の調和のとれた人材を育成する。					〔学校関係者評価のポイント〕 ・自己評価の項目や指標は適切に設定されているか。 ・自己評価の結果は、指標等をもとにした妥当なものであるか。 ・自己評価の結果を踏まえた成果と改善策は適切であるか。	
本年度の重点目標 「生きる力」を育むことを基本として （１） 「頭」を鍛え、伸ばす（学力の向上と進路の実現） （２） 「心」を鍛え、育てる（心の教育の推進と充実） （３） 「体」を鍛え、伸ばす（体の育成と部活動の活性化）						
重点目標	評価項目	具体的方策又は具体的指標	自己評価	成果及び改善策	学校関係者評価	評価・具体的意見
（１） 「頭」を鍛え、伸ばす	授業力の向上	・個の特性や能力に応じた指導を工夫する。 ・意欲や態度を含めた多面的な評価を推進する。 ・後期前半に授業公開週間を計画する。	B	授業改革推進リーダー研修に参加した。10月に授業公開週間を実施し、授業研修を行った。「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた授業を行い、授業力向上を図った。	B	・先生方の熱意を感じます。 ・成果がよくわからないところがある。
	ビジネス教育の推進	・定期的に一般職及びパート求人を提供し、就業体験を促す。 ・実務代替を推進し、就業先との提携を図ることで、生徒の勤務状況を把握し、必要なアドバイスを行う。	B	アルバイト未経験者が短期間のアルバイトに挑戦したのは成果といえる。継続して情報提供・呼びかけをしたい。	A	・今後も継続してほしい。 ・短期のアルバイトはよい経験になると思う。
	資格取得の推進	・検定試験の年間予定表の掲示や、合格者の掲示の工夫を行う。	B	商業系の検定に加え、英検や漢検に挑戦する生徒もいた。	B	・上級の資格にもチャレンジしてほしい。 ・漢検も受検してほしい。
	キャリア教育の推進	・進路ガイダンス、進路講演会等を通して、「働くことの意義と正規雇用と非正規雇用の違い」を理解させる。また、「広がる夢支援事業」の一環である就職支援のための講演会を実施し、さらなるキャリア教育の推進を図る。	B	進路ガイダンスや進路講演会を実施することで進路目標を決定するきっかけをつくることができた。	B	
	学力の向上	・基礎学力養成プリント（国・数・英・新聞記事）を実施する。 ・出席の管理を適切に行う。	B	SHR 時の基礎学力養成プリント（国・数・英・新聞記事）を毎日実施した。商業科目で少人数指導を実施した。出席率92.3%(12月末)	B	・新聞記事を見せるのは、とてもよい取り組みだと思う。
（２） 「心」を鍛え、育てる	基本的生活習慣の確立	・スリッパ登校の防止・登下校の服装のルールを遵守させる。 ・挨拶の徹底及び遅刻・中抜けの防止。 ・時間厳守の励行。	B	教師による常時指導により、多くの生徒は基本的生活習慣の確立ができている。一部生徒については継続して指導を行う。	B	
	命を大切にする教育の推進	・平時指導で、自他の生命を尊重する態度を育成する。 ・学校行事を通して自他の生命を尊重する態度を育成する。	B	人権学習等の機会を通じて自他の生命を尊重する態度が醸成できている。講話で得た知識を日常生活に生かす指導を行う。	B	
	危機回避能力の育成	・平常指導による危機回避の育成を図る(特に登下校時)。 ・避難訓練（年2回）、交通安全教室の実施。 ・救急法講習会、薬物乱用防止教室の実施。 ・危険箇所の点検。	B	避難訓練や交通安全教室、AEDを用いた救急法講習の機会を通じて緊急時に適切な対応を行う能力を高めることができおり、今後も継続指導を行う。	A	・いつ、事件・事故があるかわからないので、日頃からの危機対応力を身につけてほしい。
	スクールリーダーの育成	・生徒会活動で、主体性やリーダーシップを育成し、学校生活の充実をはかる。 ・各種委員会で、生徒が主体となった活動を推進する。 ・部活動において、生徒による自主的な運営を行う。	B	生徒会行事を執行部中心で運営させることで集団を動かす力を育てることができた。生徒に行事運営を行わせる機会を持たせ、責任感が強くなった。	B	
	豊かな心の育成	・読書活動を推進する。 ・体験活動の取組みを推進する（花壇作り、陶芸教室、体験発表等）。	B	花壇作りや陶芸教室等の活動により生徒の心の育成の一翼を担うことができた。	B	・読書活動の取り組みがよくわからない。
	特別支援教育体制の充実	・ハートサポーターによる個別面談の重視。 ・関係機関との連携、個別指導のサポート。 ・個別面談等の実施。 ・職員研修会の実施。	B	年度当初に全生徒を対象にハートサポーターとの面談を実施した。また、担任と協力し、個別に必要な関係機関と連携した支援を行った。	B	
（３） 「体」を鍛え、伸ばす	健康教育・安全管理の充実	・生徒全員の健康診断を実施し、健康診断結果の事後指導を行う。 ・教育相談・保健相談活動の充実を図る。	B	各種行事を通して得た知識を実生活の安全に繋げられるように日々の指導を行った。	B	
	個性の伸長	・部活動や特別活動を通して、生徒一人一人の個性の伸長に努める。 ・ホームルーム活動や特別活動時に生徒の得意とする分野を生かした役割分担を行う。・部活動において、生徒による自主的な運営を行わせ、リーダー力を新調させる。	B	中心となる生徒のリーダーシップにより生徒全体の積極的な体育的活動の取り組みができている。	B	・部活動は全国大会に参加するなど、よく頑張っている。
	生涯にわたる健康の保持増進のための教育	・総合学習や保健体育の授業、部活動・特別活動、健康教室を通して生涯にわたる心身の健康保持について意識を高めるとともに、生徒の体力向上に努める。	B	学校活動のあらゆる場面で生徒が互いにコミュニケーションを取ることで、豊かな人間関係を育成している。	B	

※ A：十分達成 B：概ね達成 C：検討の余地あり D：不十分